

成和校区自治連合会（大阪府）

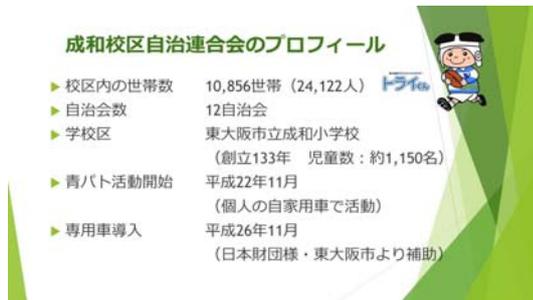


はじめまして。ご紹介いただきました私は成和校区自治連合会の女性部長で青パト隊員でもある大石でございます。本日は、隣席の青パト副隊長の好川と2人で御報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

今年度はコロナ禍における困難な状況の中、ウィズコロナと考え方を変えて、注意をしながら今までどおりの安全安心な町を目指し、「自分たちのまちは自分たちで守る」思いを胸に、成和校区全体で「青色防犯パトロール活動」をしております。

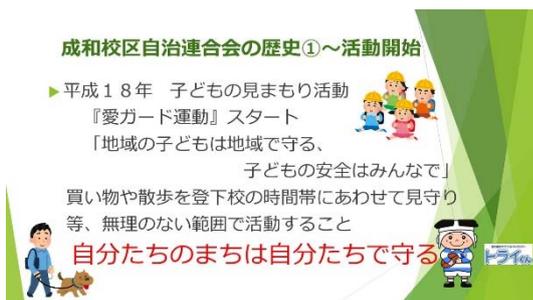


こちらは大阪府の地図です。東大阪市はこちらになります。拡大しますとこちらでございます。成和校区はここに位置しています。鉄道でしたら JR 西日本の鴻池新田駅が最寄りになります。上から登場したのは、東大阪市のマスコットキャラクターの「トライくん」です。



では、成和校区についてご説明させていただきます。総世帯数は1万856世帯で、人口は2万4,122人、12自治会で構成されています。創立133年の伝統ある成和小学校があり、児童数は全国的に見ても非常に多い約1,150名の学び舎です。

青色防犯パトロール活動、略して青パト活動の開始は、平成22年、当時の防犯委員会地区委員長の自家用車を青パト車としてスタートし、その後、各自治会や街頭でワンコイン募金をいたしました。これには校区全体に周知していただく思いがありました。そしてようやくそれが実り、日本財団様と東大阪市から補助いただき、青パト専用車を導入することができました。





『愛ガード運動』のポロシャツ

成和校区自治連合会の歴史②青パト開始（トライ）

- ▶平成22年 機動力を活かした見守り活動
 - 青色防犯パトロール開始
 - 当初は、個人所有の青色防犯パトロール車



問題点～他人の車を運転するといった不安感が常につきまとう、、、

では次に、成和校区自治連合会の見守り活動の歴史をお話させていただきます。平成18年に「愛ガード」といった子供の見守りの活動を始めました。「自分たちの町は自分たちで守る」という信念を持って、日々活動に取り組んでいます。こちらは「愛ガード」の様子です。こちらは、見守り活動をしているのが周りから見て分かりやすい、東大阪市の愛ガードのポロシャツです。



平成22年には機動力を生かした見守り活動として、青パト活動にトライしました。当初は個人所有の車でしたが、他人の車を運転する不安感や、所有者不在の際はパトロールができないといった問題がございました。ですが、ご覧のとおり、成和校区にも青パト専用車が来ましたが、(良かったですね)日本財団様が発行されている広報誌、チーム青パトプラスでこのように大々的に

掲載していただきました。繰り返しになりますが、青パトを専用車購入のため、平成26年に回覧でご周知のお願いと、ワンコインの御協力をいただきましたが、まだ足りないということで、自治会長をはじめ校区一丸となって、駅前や商業施設で街頭ワンコイン募金の活動をしました。

成和校区自治連合会の歴史～③現在

- ▶隊員数 約170人
- ▶活動費 東大阪市からの活動補助金(上限28万円)
自治会から活動助成金
- ▶行事参加
 - ・警察署歳末警戒部隊発隊式
 - ・東大阪市総合防災訓練
 - ・成和校区防災訓練
 - ・盾津フェスタ
 - ・東大阪市民ふれあい祭り → 青パト隊パレード
... etc




そして現在の活動人数は、約170人になります。青パトの活動費といたしましては、東大阪市からの活動補助金と成和校区各自治会からの助成金で活動しております。成和校区では、校区のイベントだけにとどまらず、東大阪市全体のイベントも含めて青パト隊が出動し、広報啓発活動にも積極的に取り組んでいます。その例としましては、毎年5月に開催されている「東大阪市民ふれあい祭り」の青パト隊パレードにも参加しております。今年度は、残念ながらコロナにより中止でござ

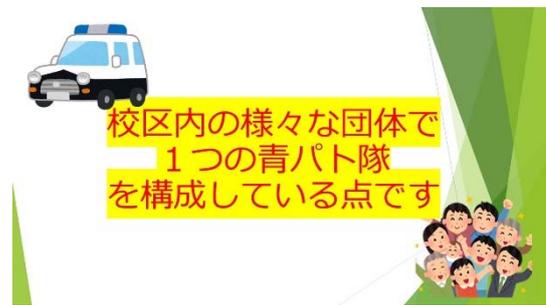
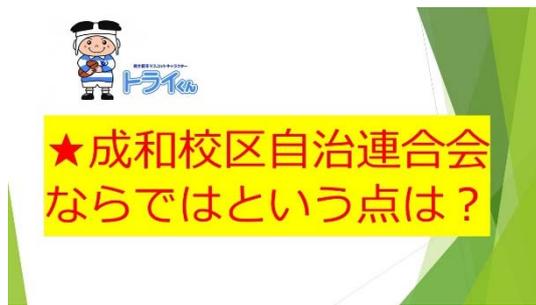


成和小学校での出発式

子供達の笑顔 (^^)♪

いしましたが、こちらがパレードの様子でございます。20台以上の青パト車がパレードに参加しております。東大阪市は全国屈指の青パト活動が盛んな町でございます。これだけ多くの青パト車が集まって一斉に行進している光景は、きっと全国的にも珍しいのではないのでしょうか。その中でも成和校区の活動は、市内の他団体

の方からもお褒めの言葉をいただいております。ちょっと自慢でございます。そしてこちらは、成和小学校の出発式の様子です。子供たちもみんな笑顔になっていました。



では次に、成和校区自治連合会ならではの、という点でございます。それは校区内のさまざまな団体で、1つの青パト隊を構成している点です。成和校区自治連合会は、現在26の団体から構成されています。自治会や連合女性部、防犯委員会、PTA、PTAのOB会、老人クラブなど、多岐多様な団体です。

▶ 構成団体 26団体
▶ 活動日数 約200日/年

1~13 自治会 (12自治会+1)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
14	12.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
15	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
16	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
17	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
18	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
19	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
20	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
21	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
22	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
23	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
24	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
25	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4
26	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4



右側が運行表の一例です。この計画に従って現場にパトロールしていますので、1団体当たりでは年に8回ほどです。例えば老人クラブでしたら、3月4日の次は4月23日で1か月以上先になります。また連合女性部の場合は3月20日ですが、その次はなんと2か月も先の5月です。このように成和校区の大きな特徴は、校区の団体が1つとなってみんなで青パト活動に取り組んでいることでございます。そして年間のパトロール実施計画が、早い段階で決まっているため、個人や団体の負担が軽減され、無理なく持続可能な活動ができるようになりました。



この他、警察の方々や行政の方々とも連携しています。安全安心な町の実現には、警察の方々、行政の方々との連携が必要不可欠でございます。それを象徴する事業が前年度から始まりました。それが「走る110番トライネット事業」です。事件や事故の捜査の際、警察から登録団体へ動画記録の提供依頼のメールが届きます。偶然その時間帯に付近を走行していたという団体は、動画記録を積極的に警察へ提供するという事業です。この事業に賛同し、青パト車にこのマグネットシートを貼り付けてパトロールをしています。私からは以上でございます。



続いて犯罪発生状況の分析について、好川より報告いたします。大阪府警が発信している「安まちメール」

の分析をしています。「安まちメール」には、犯罪の発生日時場所など、多くの有益な情報が記載されています。成和校区のどの場所でいつどんなことが起きたか、この分析が青パト活動に大いに活かせると考え、分析作業を始めました。分析データは分かりやすく資料に落とし込み、パトロールの資料として配布し、情報共有できるようにしています。決められたコースをパトロールするだけでなく、分析データを頭に入れて、26の団体がそれぞれの目線で賢くパトロールすること、そして地域で発生した新しい事件を意識してパトロールしています。では、その統計データをご覧くださいと思います。



この表は、大阪府の「安まちメール」から犯罪発生の日時や場所、犯罪種別、犯罪内容を一覧表にしたものです。(細かいデータですよ) A4サイズに印刷して配布するので、ちょっと字が細くなって見にくいです。すみません。

そしてこの地図は、大阪府のホームページの犯罪発生マップから、成和校区を抜粋した地図になります。先ほどの一覧表から、ここでこんな事件が発生したと隊員が意識するため、視覚でデータ分析を記憶してもらおうことができる地図を使うことにしました。声かけなど不審者情報や特殊詐欺を追加し、発生場所を地図に落とし込みをしています。この地図で自分たちの町の本当に自分の近い場所での子供の被害、女性被害といった弱者を狙った犯罪の状況がよく分かっていただけると思っています。

次はちょっと古いデータで申しわけありませんが、平成29年1年間の東大阪市内で発生した犯罪種別9項目を、曜日別時間帯別にカウントした一覧表です。何となく子供の登下校が危ないと言われていますが、曜日別で見ましたら、平日の方が極端に多いことが分かります。時間帯で見ると登校時間、下校時間に多いことが、このデータからも確認できます。もう1つの例として、「犯罪注意」という項目もあります。これは特に特殊詐欺を示しています。曜日別では、土日と平日で犯罪発生の差が歴然としていることが分かります。土日は平日の10分の1という形に出ています。時間帯別でしたら、10時～16時頃まで集中的に発生しています。これは家族が不在の可能性の高いタイミングで、留守番の高齢者を狙った特殊詐欺の電話が多くかけられているのではないかと思います。

このように、犯罪発生データの分析により、目に見えて危険な場所、時間、タイミングが分かるようになりました。成和校区ではこれらのデータを有益に利用できるよう、情報共有の体制を作っています。

このように、犯罪発生データの分析により、目に見えて危険な場所、時間、タイミングが分かるようになりました。成和校区ではこれらのデータを有益に利用できるよう、情報共有の体制を作っています。

課題



○中心メンバーが**高齢化**していること（人材育成不足）

○構成団体それぞれに活動があり、**26団体全員に共通認識**を持たせることが難しいこと

- 1~13 自治会（12自治会+1）
- 14 連合女性部
- 15 防犯委員会
- 16 青色パトロール隊
- 17 老人クラブ連合会
- 18 地域福祉委員会
- 19 地域連合委員会
- 20 青少年指導委員会
- 21 少年連合委員会
- 22 民生委員児童委員会
- 23 交通安全委員会
- 24 地域支援コーディネーター
- 25 小学校PTA
- 26 PTAのOBの会（親の会）

課題の解決に向けた取組方策

○定例会（月1回）

→情報共有

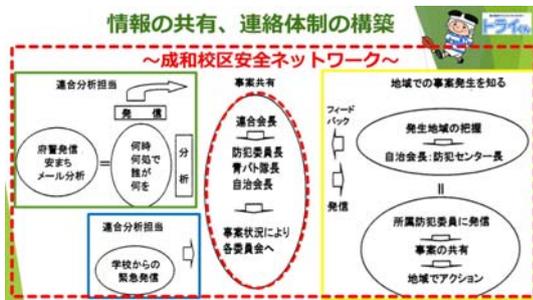
○団体相互の行事

→交流を深める



次に、成和校区の課題について説明します。発足から14年が経過し、発足当時の中心メンバーがぼちぼち高齢化しています。先ほど大石が話しましたように、成和校区自治連合会はいろいろな団体で構成されているので、若い世代を含め新しい人材を確保することができています。25番の小学校PTA、それから26番のPTA OBの会がそこです。しかしながら、中心メンバーが高齢化し、これらの団体をまとめる牽引役、中心となるような人材の不足が課題の1つといえます。また、いろいろな団体で構成され、新たな人材確保ができていく利点はある反面、団体それぞれの活動があるため、26団体全員に共通の認識を持ってもらうことが難しい状況です。

これらの課題の解決に向けた取組について説明します。私たちは月に1回、自治連合会の定例会議を開いています。その際、「安まちメール」の分析資料（先ほどの一覧表と地図のことです）を配布し、犯罪発生状況の報告をし、情報交換、情報共有を図っています。このほか、団体相互の行事に参加しています。私どもの成和校区自治連合会は、自治会、連合女性部、老人会、PTA、防犯委員など、いろいろな団体で構成されているため、お互いの行事に顔を出して交流を深め、コミュニケーションを図っています。このように交流を深めコミュニケーションを図って、あらゆる機会を通して情報共有をすることで、連絡体制を構築しています。



図で説明しますと、大阪府警から「安まちメール」で被害情報があれば、データを整理し、成和校区ネットワーク内で情報を共有します。また、学校からの緊急発信やメディア、警察からの犯罪情報を入手すれば、連合会長が情報を集約し、青パト隊などに召集をかけ、迅速に校区内をパトロールします。さらに、それぞれ事件が発生した自治会では、自治会長や防犯センター長、防

犯委員とも情報を共有し、連携を図っていきます。

読売新聞

R1.11.9 犯人逃走事案
R1.11.11記事から抜粋



このように、成和校区安全ネットワークが構築されていたことで、一昨年大阪府下の学校から不審者が逃げたという事件があり、成和小学校の校長からの情報があり、1時間もかからないうちに青パト隊が集まり、機動性を生かした巡回を実施することができました。また、昨年11月、ご存じ

のような東大阪市内で護送中の犯人が（大阪地検の車から）逃走した事件の際も、迅速に対応することができました。これが成和校区自治連合会の青パト隊の写真です。

ポイント

- ▶ 青パトでパトロールする時間など、ある程度のことは団体ごとに任せること
- ▶ ルールを細かく決めすぎないこと
- ▶ **信頼感が生まれる**



☆まとめ☆

◎ 計画的に活動することで個人や団体の負担が軽減され、無理なく息の長い持続可能な活動ができる



ポイントは、車でパトロールする時間やルートなど、ある程度のことは各団体に任せること。そしてルールを細かく決めすぎないこと。そうすることでお互いを尊重し、信頼が生まれ責任感も生まれてきます。

まとめますと、私たち成和校区は年間のパトロール実施計画を早い段階で作成し、各団体に割り当てることで、個人のスケジュール調整が取りやすく、個人や団体の負担が軽減され、無理なく持続可能な活動ができていると思っています。その結果、計画的で息の長い活動につながり、もっとパトロールしたいというようないい声も伺っています。

課題とは別に活動を脅かす事態が発生！



じゃあ今はコロナで休止中ですか？



しかし課題とは別に私たちの活動を脅かす事態が発生しました。そうです、新型コロナウイルスです。緊急事態宣言が出され、私たち団体も自宅待機を余儀なくされました。マスクの着用、3密の回避、ソーシャルディスタンス、リモートといったことが、もう今ではウィズコロナと言われるように、生活の中で当たり前になりました。新型コロナの原因ははっきり分かっていませんが、私たちの活動も一変しました。もちろんインアウト活動にも影響を与えました。特殊詐欺の被害防止対策として、青パトにマイク広報を取り入れて、広報活動を続けたかったところですが、新型コロナの影響から、顔パト隊員に高齢者が多いことを踏まえ、泣く泣く一時中止となりました。（それでは今はコロナで青パト活動はしていないんですかと言えば？）いえいえ、そんなことはありません。

6月、学校が再開！

自分たちのまちは自分たちで守る！
それに合わせて青パト始動！



徹底！感染症対策としてハンドルを消毒！

6月には学校が再開しました。新型コロナの状況で教育委員会などの行政から、青パト活動について

て自粛規制がきていましたが、そんな中、誰が言い出したわけでもないのですが、自然と青パト活動が運行表どおりに開始となりました。まさに自分たちの町は自分たちが守るという気持ちが一つになって活動が始まったということが何よりも誇りです。

(では、感染対策をどのようにしているのかと言えど?) 青パトの乗車時には、ハンドル消毒などを毎日行い、みんな気持ちよく使えるようなことを徹底しています。もちろん、マスクの着用、窓を開けての走行などもそうです。マスクをつけていても子供たちは、「変なおっちゃん、おばちゃんに車に乗るとんな」と思わずに手を振ってくれます。今後もコロナに負けず、成和校区自治連合会は、全身体制でしっかりとスクラムを組んで、子供の安全見守り活動を継続していきます。



私たち成和校区は、東大阪市内で唯一の国の重要文化財鴻池新田会所が所在する歴史と文化の町でもあります。それを誇りに思っまちづくりに取り組んでいます。成和はひとつ、字のごとく「和をもって成す」。成和校区自治連合会は、今後も安全安心なまちを目指して、「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神で、青パト活動に励んでまいります。報告は以上でございます。御清聴いただき、ありがとうございました。